

来週で4月も終わりますが、新しい学級は慣れてきましたか？最近、係活動で協力する場面をよく見かけます。給食時にバケツやトレーを準備するのを手伝ってくれる人、班が違うのにもかかわらず掃除を手伝ってくれる人、配布物の量が多いときに協力して配ってくれる人など、本当に多くの方が思いやりをもって行動してくれています。学級目標の達成に一步步近づいている気がして、とっても嬉しくなります。

「ウサギとカメ」の話は皆さんも知っていますよね。この物語は、見る人によって、いろいろな解釈ができる話ですが、とっても興味深く、感動的な解釈の仕方に出会いました。



一人の落語家が、ある小学校で「ウサギとカメ」の話をしました。

すべての話を聞き終えた1年生の男の子が言いました。

「先生、なんでそのカメさんはウサギさんを起こしてあげなかったのですか？」

「一緒にゴールした方がもっと楽しいのに……」

「てっぺんの朝礼」(大嶋啓介)より

この物語は、ただカメが勝ち、ウサギが負けたという解釈をする人もいれば、ウサギは油断したから負けたという解釈をする人もいます。また、「カメばかりを見ているウサギ」と「ただゴールを目指すカメ」との競争だという解釈もできます。この小学1年生の男の子の解釈は、「共に勝つ」方法があるのではないかと。というものです。

協力し合える皆さんには、ぜひ「共に勝つ」学級になってほしいな、と思います。私たちがよく悩むことのほとんどは「あの人と比べて……」ということではないでしょうか。「あの人と比べて勉強ができない」「あの人と比べて下手だ」「あの人と比べて運動神経が悪い」など、誰かと比較した自分に悩むことが多いような気がします。たしかに、勝負にこだわることは大切だと思います。私自身、勉強も野球も一番になりたい、と思って取り組んでいたときもありました。ただ、自分一人では目標も夢も実現できませんし、自分一人では生きていけません。周囲の支えがあってこそ自分だと思っています。だから、周囲にいる仲間と共に、協力し合い、高め合える集団になってほしいな、と思います。38+1の深い“絆”があってこそ、みんながハッピーな学級を創り上げることができて、一人一人が未来に向かって輝けるのではないのでしょうか。“みんなで頑張る”“みんなで挑戦する”“みんなで考える”“みんなで勝つ”。相手を負かすのではなく、“共に勝つ”という“Win-Win”をたくさん見いだして、その喜びをみんなで味わいましょう！